

住民のための古写真整理方法の検討～東京都江東区を事例として～

2010年3月 自然環境学専攻 086650 山口政義

指導教員 斎藤 馨 准教授

キーワード：古写真、アンケート、整理方法、住民

1. はじめに

古写真^{*}は地域の歴史を知るための資料として有用で、地域づくりや地域文化の醸造に寄与する事ができる（早稲田大学デザイン研究所 2007）。古写真を保有する多くの自治体では、古写真の整理が不十分である事から有効活用できていない。そこで本研究では、東京都江東区教育委員会が所蔵する古写真を対象とし、住民の望む古写真の活用方法を明らかにし、そのための整理方法を提案し、現在江東区において進行中のプロジェクトに適用できる可能性を検討することを目的とする。

^{*}本研究で指す古写真は、区が所有するもので、特にその整理活用が遅れている昭和30～40年代に撮影された写真を対象とする。

2. 研究方法

方法(1)：住民の望む古写真の活用方法を明らかにするためのアンケート調査（詳細は表-1参照）

表-1 アンケートの概要

期間	場所	問題数	回収数	調査項目	⑤⑥では「江東古写真館」の87枚の古写真を提示した
第1回 2009/3/3～22	中川船番所資料館	21	258	属性	①属性 ②古写真の認知度
第2回 2009/9/29 ～11/5	江東区文化センター	12	100	住民の望む古写真の活用	③望む活用方法 ④活用から得られる効果
	東陽文化センター			活用したい古写真の抽出	⑤印象に残る写真 ⑥江東区らしい写真
	江東図書館			⑦古写真に必要な情報 ⑧求める古写真	

方法(2)①：(1)で得られた、87枚の古写真についての印象の違いを把握する為に以下の方法で分類

- A. 距離景区分による分類
- B. 古写真に写っている景観構成要素の面積率による分類
- C. アンケート結果から住民の意識を基にした分類

②(1)のアンケート結果と(2)のABCを考察し整理方法を提案する。

(3)(2)の②で提案した整理方法が江東区役所地域振興部観光課文化財係が行っている古写真整理作業（古写真プロジェクト）に適用できるか現状把握と分析を行った。

3. 結果

(1)アンケート調査では、区が出版した古写真集への認知度は低い（100%）と考えていた。活用方法には、学校教育（28%）、展示会等（18%）が多く、理由は、「歴史を知ることができる」「地域を見直す姿勢」「地域に興味」であった。江東区在住者は、「印象に残る写真」と「江東区らしい写真」として、居住地近くの古写真を選ぶ傾向があり、区外者と異なった。またアンケートを開催場所付近の古写真が選ばれた。古写真に付与する情報については、同一場所の今の写真が最も印象に寄与し、続いて写真の説明文、撮影場所名、撮影年代の順となった。

(2)①A. 古写真の距離景区分では、「近景」12枚（14%）、「中景」73枚（84%）、「遠景」2枚（2%）となった。B. 写真の景観構成要素は、街路空間の基本要素「道路」「建物」「空」「河川」と、アンケートでの回答者の着目点をふまえた「看板」「草木」「人間活動」「その他」の計8要素となった。これらの景観要素が対象写真中に占める面積でタイプA～Dに分類した。さらに、洪水時や祭り等のイベント性の高い写真はタイプE、神社仏閣の写真はタイプFとした（表-2）。C. 印象に残った写真を選ぶ際の理由を5つに分類した（表-3）。

②ABCの分類を合わせた結果が表-4となった。ここから、「中景-タイプA」の写真は住民が理由1で印象に残り、また「江東区らしい写真」としても選ばれ、「近景-タイプD」「中景-タイプE」の写真は理由2で「印

象に残る写真」として選ばれる傾向にある事が示唆された。

(3) 江東区古写真プロジェクトは平成 19 年より始まった。区内に長年住む文化財保護推進協力員 8 名 (6、70 代) が参加し、月 1、2 回のペースで古写真整理の作業を行っている (2009 年度)。また現在の記入項目には、記入率が少ない項目や他の項目と重なる物等があり検討が必要であると考えられる。2009 年末において著作権等の問題もクリアになっている 396 枚についてその整理状況を見た (表-5)。

4. 考察

アンケート結果からは住民は「学校教育」や「展示会」での活用を望んでおり、地域の歴史を知る為や興味を持つきっかけとなる事が示唆された。また、住民の住む場所や年齢層によっても古写真の感じ方は異なった。そのため活用を考えた場合、活用する場所や対象によって選択する古写真が異なるため活用毎に収集されている写真から探さなければならない。そこで住民の視点を取り入れた「距離景と景観要素による分類」を整理時に取り入れるのが有効と考えた。例えば「中景-タイプA」の写真は住民が理由1で印象に残り、また「江東区らしい写真」としても選ばれるので、写真の説明文をつける事ですぐ活用できる。また、「近景-タイプD」「中景-タイプE」の写真は理由2で「印象に残る写真」として選ばれることから、先ず撮影場所や年代を示す事で活用できる。このように「距離景と景観要素による分類」が、活用の際に有用であるかどうかを判断する一つの指標として活用でき、それぞれの分類ごとに整理すべき情報も異なると考えられる。

以上で提案した古写真整理方法を、江東区古写真プロジェクトに適応して、整理作業フローチャートが作成できた。写真全てに、同一場所の今の写真、写真の説明文、撮影場所名、撮影年代といった写真の印象に関わる項目等を付与する事が理想だが現状では難しく、必要な整理項目を限定できる提案方法が有効と考えられる。また、区民の印象に残らない分類となった写真は、整理の優先度が低くなり、活用の可能性が高い写真から優先的に整理が行えるという効率化の面でも効果的である。

表-2 写真の景観構成要素による分類

タイプ名	内容	枚数(%)
A	「人間活動」が全体の15%以上を占める	14枚 (16%)
B	「空」「道路」が占める割合が全体の60%以上	35枚 (40%)
C	「空」「河川」が占める割合が全体の60%以上	13枚 (15%)
D	タイプAに属さない「建物」の割合が上位2位以上	18枚 (21%)
E	洪水時や祭りといったイベント性の高い	4枚 (5%)
F	神社仏閣	3枚 (3%)

表-3 印象に残った写真を選ぶ際の理由による分類

番号	内容	回答例	説明	回答数(%) 区民
1	被写体のいずれかに注目する	「都電」「橋」「木場」「洪水」	印象に残った理由で一番多く、全ての年代からの回答があった	69 (23%)
2	知っている(思い出がある・懐かしい)	「小さい頃の記憶がある」「よく-した」	区内在住の年配の方からの回答が多い。	65 (22%)
3	身近な場所	「家の近くである」「行った事がある」	若中年層からの回答が多い。写真による偏った傾向はなく	66 (22%)
4	現在との比較	「今の違い」「変貌ぶり」	全ての年代からの回答があった。	43 (15%)
5	その他	「小説に出てきた」「空が広い」	全ての年代からの回答があった。	51 (17%)

表-4 (2)のABCを合わせた分類 区民

距離景区分	タイプ	枚数	「印象に残る」 回答数が 平均以上(%)	「江東区らしい」 回答数が 平均以上(%)	理由 1	理由 2	理由 3	理由 4	理由 5
近景	A	4枚 (5%)	1 (25%)	1 (25%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)
	D	4枚 (5%)	3 (75%)	0 (0%)	10 (25%)	14 (35%)	4 (10%)	7 (18%)	5 (13%)
	F	1枚 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)
中景	A	10枚 (11%)	4 (40%)	7 (70%)	13 (30%)	7 (16%)	6 (14%)	7 (16%)	10 (23%)
	B	35枚 (40%)	10 (29%)	4 (11%)	16 (22%)	17 (23%)	23 (31%)	10 (14%)	8 (11%)
	C	13枚 (15%)	4 (31%)	5 (38%)	3 (12%)	2 (8%)	10 (40%)	7 (28%)	3 (12%)
	D	12枚 (14%)	3 (25%)	2 (17%)	2 (20%)	3 (30%)	2 (20%)	1 (10%)	2 (20%)
	E	4枚 (5%)	3 (75%)	3 (75%)	6 (19%)	9 (28%)	3 (9%)	5 (16%)	9 (28%)
	F	2枚 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)	0 (0%)	1 (33%)	1 (33%)	0 (0%)
遠景	D	2枚 (2%)	1 (50%)	0 (0%)	1 (11%)	2 (22%)	3 (33%)	1 (11%)	2 (22%)

表-5 古写真プロジェクトでの整理状況

番号	タイトル	撮影場所	撮影年代	備考	フィルム種類	参考	記録者	
記入率	100%	100%	57%	47%	46%	65%	0%	75%



写真
「近景-
タイプD」



写真
「中景-
タイプA」



写真
「中景-
タイプE」

An Examination of the method of arranging old photographs for residents

～A case study of Koto-ku in Tokyo～

Mar. 2010, Department of Natural Environmental Studies, 086650 Masayoshi YAMAGUCHI

Supervisor: Associate professor, Kaoru SAITO

Keyword: old photograph, method of arranging, questionnaire, resident

1. Introduction

The old photograph is good material that learns the local history, and, it has a good influence for the growth of a regional culture. The old photographs is not is effectively used at Many self-governing body holding that. In this study, focusing The old photograph that the board of education in Koto-ku have, ①Make clear the method of using the old photograph the resident hope, ②proposes the arrangement method, ③aims to examine the possibility to be able to apply to the ongoing project in Koto-ku.

The old photograph in this study is the one that was taken in the 1950's

2. Study method

(1) Questionnaire survey :to make clear the method of using the old photograph the resident hope (Table1).

Table-1 Outline of one Questionnaire

	period	place	questions	collections	Assorted traits	show 87 old photographs
1st	2009/3/3～22	Nakagawafunabansyo	21	258		Attribute
		Kotoculturecenter				Use of old photograph
2nd	2009/9/29 ～11/5	Toyoculturecenter	12	100		Extraction of old photograph
		Koto library				

(2) ①Classification in the following way, To understand the difference of the impression about 87 old photographs

A. Classification by distance division

B. Classification according to area rate of Landscape element in old photograph

C. Classification from result of the questionnaire based on consideration of resident

②proposes the arrangement method by Result of the questionnaire and 3 classifications

(3) Examine the old photograph arrangement work, because To confirm whether the arrangement method can adjust

3.Result

(1) Few residents know the photograph collection that published from in Koto-ku.It is important to do the collection arrangement (100%). As a use method, The school training (28%) exhibition(18%) There is a lot of difference between residents and others when they chose old photograph. The impression changes depending on information given to the old photograph. It is the order the current photograph of the same place contributing to impressions most, and continuously at the photo caption, taking a picture place name, and taking a picture age.

(2) A. "Near view" 12 pieces (14%), 73 "Middle-distance view" (84%), and 2 "Distant view" (2%)

B. The landscape element of the photograph are eight elements "Road", "Building", "Empty", "River", "Signboard", "Plant", "Man activity", and "Others" in total. It classified it A to D, by the area that occupies.

Other hand, Photograph of flood is Type E, Photograph of shrines and temples is types F, and The reason that remained in the impression was classified into five. The result of matching the classification of ABC became Table-4. 「Middle-distance view-Type A」 is chosen as the impression one by reason 1. .

(3) The old photograph project of Koto Ward old started in 2007. Eight older people join it. That project takes place around twice a month. There are some items with few filling in rates. It is necessary to examine it. I confirmed arrangement situation.

4. Consideration

The resident hoped for use in "School training" and "Exhibition" from result of the questionnaire. So that, it is effective to take [Classification with distance and the landscape elements when we arrange the old photograph. It classifies the old photograph by distance and the landscape elements, it becomes one index that judges be useful when using it. It is difficult though the thing to give all information to all arranged photographs is an ideal of the photograph project of Koto Ward old under the present situation. It is thought that this method by which an arrangement item necessary in each photograph can be examined is effective.

It is thought that it is possible to improve the efficiency the arrangement of other photographs.



picture 「near-TypeD」



picture 「Middle-distance-TypeA」



picture 「Middle-distance-TypeE」

Table-2 Classification with landscape element

Type	Content	sheets (%)
A	"Man activity"	14 (16%)
B	"Sky" and "Road"	35 (40%)
C	"Sky" and "River"	13 (15%)
D	"Building"	18 (21%)
E	Flood and festival	4 (5%)
F	Shrines and temples	3 (3%)

Table-3 Classification by reason (impressions)

No	content	answer	sheet (%)
1	subject	Bridge, "Lumber yard", and "Flood"	69 (23%)
2	It misses it	memory when it is small	65 (22%)
3	Familiar place	near the person	66 (22%)
4	Comparison with present	Difference with now.	43 (15%)
5	other	The sky is wide.	51 (17%)

Table-4 Classification that matches ABC

Distance division	Type	Sheet	impresion(%)	seems to be (%)	1	2	3	4	5
Near	A	4 (5%)	1 (25%)	1 (25%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)
	D	4 (5%)	3 (75%)	0 (0%)	10 (25%)	14 (35%)	4 (10%)	7 (18%)	5 (13%)
	F	1 (1%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)
Middle-distance	A	10 (11%)	4 (40%)	7 (70%)	13 (30%)	7 (16%)	6 (14%)	7 (16%)	10 (23%)
	B	35 (40%)	10 (29%)	4 (11%)	16 (22%)	17 (23%)	23 (31%)	10 (14%)	8 (11%)
	C	13 (15%)	4 (31%)	5 (38%)	3 (12%)	2 (8%)	10 (40%)	7 (28%)	3 (12%)
	D	12 (14%)	3 (25%)	2 (17%)	2 (20%)	3 (30%)	2 (20%)	1 (10%)	2 (20%)
	E	4 (5%)	3 (75%)	3 (75%)	6 (19%)	9 (28%)	3 (9%)	5 (16%)	9 (28%)
	F	2 (2%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)	0 (0%)	1 (33%)	1 (33%)	0 (0%)
Distant	D	2 (2%)	1 (50%)	0 (0%)	1 (11%)	2 (22%)	3 (33%)	1 (11%)	2 (22%)

Table-5 Filling in rate of items

	No	Tittle	place	age	Remarks	filmkind	recorder
Filling in rate	100%	100%	57%	47%	46%	65%	75%